

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 8-3-2	事務事業名 ごみ収集最適化システム導入に向けた調査・検討	所管部課 みどり環境部 ごみ減量推進課
----------------	---------------------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	<p>ごみの収集ルートや収集車両の台数の必要数については、現在は清掃作業員の経験や知見に基づき委託業者と協議しているが、熟知している清掃作業員の退職等もあることから、その知見の継承が課題となっている。そのため、客観的なデータに裏打ちされた、収集ルートや収集台数の適正化を図るための調査・検討が必要である。</p>	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 他の地方公共団体等においても導入実績のあるクラウド型のシステムによりGPS機能付きタブレット端末を委託収集車に搭載し、データ集計を行うことで収集に要する時間等のデータを6か月程度蓄積する。この蓄積されたデータを元に収集ルート等の見直しを図ることで、委託収集車の台数を最適化する。	
事業開始時期	平成29 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	28年度	29年度	30年度	目標 31 年度
事業費(A)			3,500		
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
その他 ( )					
一般財源		0	3,500	0	0
所要人員(B)	人				
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	0	0
臨時職員賃金等(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	3,500	0	0
単位当たりコスト(E)=(D)/ ( 収集委託費 )	千円	0			

活動等指標	単位	28年度	29年度	30年度	目標 31 年度
① 収集委託費	実績値 千円	687,993			
②	実績値				
《指標の説明 など》 独自ルートによるごみ・資源物に収集運搬にかかる費用					
成果指標	単位	28年度	29年度	30年度	目標 31 年度
一次 収集車両台数	目標値	72	72	71	71
	実績値	72			
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明 など》 GPS機能付きタブレット端末を委託収集車に搭載し、そのデータを元に適正な車両台数等の検証をする。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	カラスや猫による可燃ごみ(生ごみ)の飛散防止のため、ある程度の収集時間が分かるようにしてほしいという声がある。	
	事業実施上における制約や財源確保等		
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

**【一次評価】**

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度(緊急性)	2	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化	市町村の一般廃棄物処理に関する収集運搬の委託に関しては、平成26年の環境省通知によれば、廃棄物処理法施行令第4条に規定する委託基準には受託者としての要件に加え、「受託業務を遂行するに足る額であること」が定められており、当該委託基準は業務の確実な履行を求める基準であるとされている。そのため一般廃棄物処理については、専ら自由競争に委ねられる性格の事業ではないことから、委託料や委託収集台数の見直しに当たっては、客観的なデータの蓄積による適正なルートや委託収集台数の検証を行うことが求められる。 本事業の事業化により、客観的なデータに裏打ちされた適正なルートを構築することで、委託収集台数の最適化を実施し、効果的な事業運営が行えるものとする。	
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 実施を延期		
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
					<input type="checkbox"/> 計画を中止

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

**【二次評価】**

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度(緊急性)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化	一般廃棄物処理における収集については、国からも委託業務の確実な履行を求める基準も示されており、システムの導入による最適な収集ルートの検証は有益である。導入に当たっては、既に導入をした先進事例等についても十分参考にしつつ、検証期間や検証後の対応等を明確にした上で進められたい。	
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 実施を延期		
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
					<input type="checkbox"/> 計画を中止

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

**【外部評価】**

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	(対象外)

**【行革本部評価】**

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	本事業については、ごみ収集に係るデータを分析するとともに、収集ルートや収集台数の検証を行うものであり、システムの導入によるごみ収集の適正化が期待されるところである。 事業実施に当たっては、他自治体における先進事例等を参考にしつつ、検証による効果や検証後の対応等を明確にした上で実施されたい。

**【今後の方向性・スケジュールと方向性に沿った取組を実施するにあたっての課題】**

今後の方向性・スケジュール	◇平成29年度 収集ルートについてのデータ集計を行い、適正な収集ルート及び収集台数を調査する。 ◇平成30年度以降 調査結果を踏まえた対応を図る。
---------------	--